

塩谷郡市医師会だより

平成15(2003)年11月18日 第31号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

平成15年度第3回役員会報告

日時：平成15年11月10日(月)18時30分から
場所：氏家町保健センター内医師会事務室
出席役員：尾形会長・西川副会長・池田・山田
後藤・中川・加藤・小林祐・二井谷・小林正
尾形新・川原事務長



小林正理事の議事進行にて次の協議がなされました。

協議事項

医療機能分化推進事業の現況について

(1) アンケートの中間報告

<池田理事>本アンケートは無作為に抽出した3,000名の一般住民を対象に行いましたが、9通が無効となったため、有効配布枚数2,991通となります。回答数は1,207通で回答率は40.4%となっています。市町別の回答率は、矢板市36.9%、氏家町45.4%、高根沢町37.8%、塩谷町40.5%、喜連川町43.3%となっており、氏家町と矢板市では、8.5%の格差があります。個別医療機関が実施している患者アンケートの回答率(60%前後)比較すると低くなっていますが、個別医療機関のアンケートでは、現に通院(入院)している方を対象としているのに対し、本アンケート調査は、あまり医療機関を利用しない方や医療・福祉に対する関心の低い方も対象者に含まれていることに起因しているものと考えられます。

また住民の皆様にとっては“かかりつけ医”や“地域医療連携”という言葉に馴染みがないため、回答を躊躇したことも予想されます。と述べられました。

アンケートの最終結果は、集計・分析を進めた後委員会で、今後どのような形で地域住民にフィードバックし、さらに病診連携に結びつけるかの検討を続けることとなります。

(2) 病診連携システムの費用負担について

尾形会長は、塩谷総合病院・黒須病院の両病診連携室、各医療機関の間とのネットワーク構築について、もう一度理事役員会で確認する機会を持ちたいと、提案しました。

(3) 健康手帳について

池田理事より、医療機能分化推進事業の一環としてかかりつけ医の定着・紹介率を向上させ、同時に医療機関相互における患者情報の共有化を図り、医療連携を促進するために健康管理手帳を作成する計画をしているとの、説明がありました。

対象は塩谷郡市の医療機関に通院する成人2,000人(老人手帳を有する高齢者は除く)とし、健康手帳には患者の既往歴、手術歴、受信記録、投薬記録等が記載でき、配布数は無床・有床診療所30冊、病院50冊、総合病院60冊で、配布数以上は有償と考えています。と述べました。

塩谷郡市医師会史について

池田理事から11月21日に会員に配布予定との報告がありました。配布先は委員・医師団で漏れないよう確認し、編纂に使った医師会所有の資料等の保管については、医師会史委員並びに会長が確認のうえ決定されます。

また、医師会史刊行祝賀会を開催することが、全員一致で承認され、その詳細については会長一任ということになりました。

地区公衆衛生に係る医師会活動(社会活動)について

尾形会長は、矢板地区公衆衛生協会の活動について協力依頼があり、受諾する旨を述べられました。

予算は、医師会枠として準備し、内容としては感染症予防のパンフレット・ポスターの製作等が考えられるが、詳細については社会活動委員会で検討することになりました。

報告事項

県医師会代議委員会

(1) 医療廃棄物適正集中処理施設建設進捗状況

尾形新理事より、次の報告がありました。会長挨拶、副会長の報告によると、今後も建築を目指すということなので、当初の計画と大幅に異なる状況となっているので、新たな展開がある場合は

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
U R L http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/ M L shioya-ml@tochigi-med.or.jp	尾形新一郎 ogata@o-ga-ta.or.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp 坂和 shioya@tochigi-med.or.jp

もう一度代議員会に諮っていただくこと 計画を継続するならば、予てよりお願いしている医療廃棄物適正集中処理施設建設についての委員会を立ち上げること 優良業者を一業者（勝山グループ）だけ選定・推薦するという点について、「一貫して一社で行える業者」とあるが、一事業所だけの推薦は適切ではないので、できることならあと何社か推薦していただくと有難い、以上の要望をしました。

(2) 新塩原病院建設進捗状況 池田理事

(3) 平成 14 年度県医師会収入支出決算
小児救急体制について 尾形会長

■ 矢板市市民文化祭に参加



受付には長蛇の列ができることも
検査結果は個別に説明を

11月3日(文化の日)矢板市役所別館で開催された矢板健康まつりに社会活動委員が中心となり、本年度のテーマである禁煙活動の一環として参加しました。

医師会からは尾形会長、西川副会長、山田(社会活動委員)沼尾利郎(塩谷総合病院副院長)森島(氏家町)尾形新(社会活動委員長)川原事務長が、また、技師の小野崎さん(塩谷総合病院)看護師の田崎さん(尾形クリニック)に協力頂きました。

禁煙相談、呼吸機能検査および動脈硬化検査を実施し83名の方が検査を受けられ、検査結果は会員の先生より説明・指導をしました。一時受付には長蛇の列ができ、大盛況のうちに終わりました。

■ 塩谷郡市医師会会員名簿について

医療機能分化推進事業のひとつとして、塩谷郡市独自の会員名簿を作成しましたので会員に送付いたします。

■ その他

(1) 平成 16 年度禁煙推進活動について

西川副会長が地域保健活動推進協議会事業〔禁煙推進運動〕の取り組みについて、県医師会へ次年度の事業計画を提出しました。

一市四町の「健康まつり」に医師会として参加し禁煙の大切さをアピールし、肺機能検査・脈波伝搬速度の測定を実施し、禁煙のリスクを訴える

「禁煙ポスター」を作成し地域住民に訴える

ホームページで禁煙の啓蒙

講演会の開催 圏内の小中高等学校の児童生徒、教職員、PTA並びに医師会員向けに禁煙の講演会

(2) 県郡市・大学医師会正副会長懇談会について

尾形会長は次の3項目について質問しました。

- 1) SARS受け入れ体制について
- 2) 乳がん検診について
- 3) 老人健康法に基づく肝炎ウイルス検診について

(3) 日医標準レセプトソフト展示について

県医師会のORCAプロジェクト普及推進事業で(株)IDKの協力により医師会事務室にORCA搭載コンピューターが常設されています。つきましては第1回目の説明会を11月25日(火)18時30分より開催します。インストラクターによる操作指導、および導入されている先生の講演会を予定しています。

第 324 回塩谷郡市医学講座



日 時

11月11日(火)

19時~20時30分

場 所

氏家町保健センター
集団指導室

講 師：東京医科大学第二外科
教授 石丸 新 先生

講 演：胸・腹部の低侵襲治療

ステントグラフト内挿術

高齢化社会を背景に日常診療で時々経験する大動脈瘤に焦点を絞り、日本を代表する心臓血管外科医である、東京医科大学第二外科教授の石丸新先生の講演をいただきました。

かつて大血管外科手術は、侵襲が大きく難しいものでしたが、今や低侵襲治療の時代の到来を目の当たりにした講演内容で、ステント内挿術による大動脈瘤治療は世界をリードする画期的な手技であることを実感しました。

* 新入会員紹介

中津川昌利 中津川循環器科内科クリニック

高根沢町 10月1日入会

若松 慶太 矢板南病院 院長 9月1日入会

* 新年会 塩谷・喜連川医師団幹事

日 時：平成 16 年 1 月 30 日 (金) 18 時 30 分

場 所：日光寿司(塩谷町大宮・塩谷高校前)

会 費：3,000 円

講 演：「医師会史顛末記」 編纂の裏のウラ
戸村・岡編纂委員